

保育業務支援システムの導入について
(事務事業:町立保育所運営事業)

1 趣 旨

国では、保育分野におけるデジタル技術の活用により、保育士の業務負担軽減、保育士が子どもと向き合う時間を増やし、保育の質を向上させることを目的として保育 DX 構想を進めており、その取り組みを踏まえ、町立保育所に「ICT機能」を導入しようとするもの。

既に町内の民間法人においては導入済機能であり、町立保育所においても「保育業務の効率化」、「業務の精度向上・平準化」、「保護者に対する保育サービスの拡充」を主な効果として期待し、実施しようとするもの。

2 導入予定機能及び効果

導入予定機能	導入前	導入後	期待する効果
(1)保育計画・記録に関する機能	各保育士が一字一句文章作成	例示文の選択利用や例示文を編集して文章作成が可能	・業務時間の削減 ・業務の平準化
(2)園児の登降園管理に関する機能	タイムカードと保育の認定時間等が紐づかず延長保育料を手計算	・延長保育料の自動計算 ・登降園記録のデータ化	・業務時間の削減 ・ヒューマンエラーの防止
(3)保護者との連絡手段に関する機能	・欠席連絡は電話、FAX、メールの併用 ・保育所からお便り(紙)	原則導入システム中心に運用(連絡内容の自動記録化)	・時、場所を選ばず連絡が可能 ・情報共有の効率化

3 概算経費 270 万円

特定財源見込み 保育対策総合支援事業費国庫補助金 55 万円(上限額)

4 導入スケジュール(予定)

- | | |
|--------------|---------------|
| (1)町議会補正予算提案 | 令和7年 12 月定例会議 |
| (2)導入契約 | 令和8年 1 月 |
| (3)運用開始 | 令和8年 4 月 |